

2019年度第3回高知県言語聴覚士会理事会

日時 2019年7月5日(水) 19:00~20:30

場所 いずみの病院

出席 西田 石川 池 小松 高野 谷本 中平 野田 森下 山本(光) 山本(理) 横畠 吉村 若林
矢野(書記)

欠席 川上

【検討・報告事項】

1. 地域福祉部

- ・県リハ三団体協議会；6/7(金)役員会議開催済。
- ・2019年度研修会予定；9月地域ケア会議推進リーダー導入研修、10月地域ケア会議初回研修、11月スキルアップ研修、12月模擬会議、2020年1月介護予防推進リーダー導入研修及び介護予防事業実践報告会、2月訪問リハ実務者研修会。
- ・県内アドバイザー事業(地域ケア会議、介護予防事業)同行；昨年は予算越えとなり今年は人数制限する。早めに希望者を募り、申し込み後は県士会で段取る。
- ・地域ケア会議アドバイザー；市町村との直接契約が解消されず派遣状況把握が困難。県に市町村への再度周知を提案、各県士会から会員への周知を図る。ST士会では金城氏が該当するが導入研修は受講済。

2. 会報編集部

- ・部会報告；6/20、6/25に実施。会報表紙は継続。施設長宛送付は、PT・OT各協会の状況を確認し検討。
- ・120号発行；掲載広告の確認が遅れ、発行が遅れる。
- ・オーテピア図書館から国立国会図書館へ会報が送付されているらしく、国立国会図書館からお礼の連絡があったが、近森リハの発行物と誤解されていたため、発行所の記載について修正する。

3. 渉外部

- ・部会；6/10福祉総合フェアの検討。高知リハオープンキャンパス用パネル、協会ポスターを使用する。
- ・当日7/13は石川副会長も参加。渉外部部員数名参加。来週全体の会議あり。

4. 教育部

- ・基礎講座；6コマを2日間で実施。講師は西田、石川、矢野、川上、山本(理)、吉村、横畠、大崎各理事、丸井会員から選定する。今後講師を増やしていくが臨床経験10年以上の条件で会長推薦。
- ・開催日時；1回目→9~10月の単独開催、2回目→1~2月に専門講座が学会との抱き合わせを検討。
- ・専門講座；高次脳機能障害の分野とする。講師選定は教育部で検討。

5. 事務局

- ・研修会依頼；社会福祉事業所「えぼし」小笠原所長より自施設職員(10名程度)に対し、嚥下障害に関する研修会の依頼があった。高齢の知的障害者の嚥下障害の対応に苦慮しているとのこと。会長に相談し先方へは引き受けることを連絡済。石川副会長が窓口となり進める。事前見学等情報を得て準備する。

6. 災害対策部

- ・6/6高知県災害リハビリテーション連絡協議会、6/15~16第12回JIMTEFベーシックコースへ参加した。
- ・9/22災害リハビリテーション研修会開催予定；ポイント取得対象研修会とする。
- ・JRATとして人員を確保できる施設にビブスを配布することになった。

(会長より)災害時の安否確認；東京、大阪等はグーグルフォームを活用。会員からの連絡をグーグルフォームが集約。研修会案内や参加申込みにも使用している県士会もあると。渉外部・災害対策部で利用方法について調べる。

7. その他会長より報告

- 全国学会懇親会への参加；川上副会長。
- 都道府県会会長会議；・認定言語聴覚士の取得者数をHPに掲載することになった。・重心動揺計はSTが取り扱えることになり、来年の改定に向け医学会など団体と協力して働きかける。・働き方改革として医師以外ができることを厚労省が検討中。STは食形態ならできるのでは、と答えた。聴覚障害、放課後デイに聴覚障害児が来たときにはSTの定員が位置づけられるかも。
- 意思疎通者派遣事業；7月に県の担当と話し合う。今年度の養成講座は若林、山本(理)各理事が参加。
- 全国学会；県士会からの2演題に対し毎日新聞社の方・新潟県士会会長から意見をもらった。小学生の自由研究と一緒に計画している県士会もある。
- 巡回；教育委員会からは講師を快諾していただいた。研修に出席したら巡回相談事業に派遣できるようにする。

次回 2019年8月7日(水) 19:00~ いずみの病院にて